



森林環境の整備にもつながります

## 環境問題解決に、 本組合も一役

# 群馬県 グリーン ボンドを購入

本組合では、本年七月、組合の余裕資金を活用し群馬県が発行する「グリーンボンド（環境債）」を購入しました。

このグリーンボンドは、森林環境の整備や河川整備、再生可能エネルギー導入など、集められた資金が環境保全や脱炭素社会の実現に向けた県の施策に活用されるものです。

組合では、こうした趣旨に賛同し、「森林を守る思いを、森林を守る資金に託して」という観点から投資を行いました。

具体的には、五年満期債と十年満期債を合わせ計六千万円の投資を行っています。

今回の取り組みには、次の二つの目的があります。

### 一、地域の森林環境整備・脱炭素への貢献

グリーンボンドによって、県内で森林環境整備や気候変動対策が進むことは、組合の理念と深く重なります。私たちはこの投資を通じて、間接的に地域の森林や自然環境の保全に貢献しています。

### 二、安全性の高い資金運用による収益確保

県債は元本と利息の支払いに対する信頼性が高く、安全性の高い運用先です。得られた利息収入は、今後の森林整備や組合の事業活動に役立てていきます。

組合では今後も、「森林を守る」視点と「安定した経営」の両立を図りながら、地域や環境に貢献する取り組みを進めていきます。

## スマホで山を探す講習会開催

「所有林の場所がわからない」という声から

令和六年十二月八日、組合員を対象に「スマホを持って所有林を探そう」と題した講習会を開催しました。

この講習会は、組合員の皆さんが所有する山林について、「場所が分からない」「境界がはっきりしない」といった課題を抱えているケースが多いことから企画したものです。

### 地図ビューアの使い方を実践

当日の参加者は十名。はじめに、令和五年から一般に無償公開されている法務局の地図データと、株式会社マップルが提供する「MAPPLE法務局地図ビューア」の使い方について組合から説明した後、実際にスマートフォンを使って、所有林の位置や境界線を画面上で確認する実習を行いました。

### 自分の山が「見える」体験

「思っていたより簡単に確認できた」「これなら自分でも山林の場所を探せそう」といった声も聞かれ、参加者の関心の高

さがうかがえました。



スマホを使って境界線確認

### 今後も所有林への関心を 高める機会を

組合では、今後も山林への理解や関心を深めていただけるような取り組みを継続していく予定です。

スマートフォンを活用した地図閲覧は、遠方にお住まいの人や普段なかなか山林に足を運べない人にも有効な手段です。今回の講習が、所有林との「つながり」を再認識するきっかけになればと考えています。